

令和7年度 国語科学習案内

1. 国語科の目標

文章や話し言葉に表れる相手の思いを正確に理解し、自分の思いを適切に表現する「伝え合う力」を高めることをねらいとする。そして、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の学習を通して思考力や想像力を伸ばし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。

2. 学習内容

三年間を通じてスピーチ等の話す・聞く分野、作文や手紙等の書く分野、説明文や物語文、詩や古典等の文章を読む分野、書写や古文の音読、文法等の言語事項の分野の学習をする。学年が上がるにつれて学習内容が深化し、段階的に各分野の学習内容を習得することで、三年間をかけて、中学校課程での学習内容の習得を目指す。

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

*知識・技能

観点・評価規準

「言葉（漢字、語彙、文法、敬語など）」の特徴や使い方を理解し、身につけるとともに、情報の扱いや伝統文化（古典、書写、読書）に関して、理解した知識をもとに読んだり使用したりできる技能を身に付けている。

小テスト（漢字、文法、ことわざ等の言語事項、敬語、歴史的仮名遣い、返り点等）

評価方法 定期テスト 古典暗唱 情報の扱い方に関する事項 授業での取り組み

*思考力・判断力・表現力

観点・評価規準

目的や場面に応じて話し、聞き、伝え合うとともに、目的や意図、課題に合った文章を書き、文章の種類（文学的文章、説明的文章など）に応じて的確に内容を読み取ることができる。

評価方法 定期テスト スピーチ 作文 提出物 授業での取り組み

*主体的に学習に取り組む態度

観点・評価規準

授業に対し、主体的・積極的に取り組むとともに、小テストや作文、スピーチなどに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとする態度を身に付けている。

評価方法 振り返りシート 小テスト 提出物 授業での取り組み

<学習内容>

	月	1 年	2 年	3 年
1 学期	4	「①学びをひらく」 「②新しい視点で」 「③言葉に立ち止まる」	「①広がる学びへ」 「②多様な視点から」 「③言葉と向き合う」	「①深まる学びへ」 「②視野を広げて」 「③言葉とともに」
	5			
	6			
	7			
2 学期	9	「④心の動き」 「⑤筋道を立てて」 「⑥いこしえの心に触れる」	「④人間のきずな」 「⑤論理をとらえて」 「⑥いこしえの心を訪ねる」 「⑦価値を語る」	「④状況の中で」 「⑤自らの考えを」 「⑥いこしえの心を受け継ぐ」 「⑦価値を生み出す」
	10			
	11			
	12			
3 学期	1	「⑦価値を見いだす」 「⑧自分をみつめる」	「⑧表現を見つめる」	「⑧未来へ向かって」
	2			
	3			

令和7年度 数学科学習案内

1. 数学科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2. 学習内容

「数と式」…計算に関わること

「図形」…形についての特徴にかかわること

「関数」…複数の量について関わること

「データの活用」…数の処理に関わること

の4つの内容について系統的に学習します。算数と同様に正しい答えを求めるだけでなく、理由を明らかにしながら説明したり示したりすることも大切です。さらに、数学独特の表現の方法について理解を深めて、読み解くことができるようになることを身に付けていきます。

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

* 知識・技能

基本的な概念や原理、法則などの知識をもとに、数学的に表現・処理する技能。自分の考えを表現できる技能を、定期テスト・小テスト、レポートやノート等提出物、授業での様子などで評価します。

* 思考力・判断力・表現力

知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを、定期テスト・小テスト・話し合い活動の取組、レポートやノート等提出物、授業での様子などで評価します。

* 主体的に学習に取り組む態度

学ぶことに興味・関心を持ち、見通しや目的意識をもって粘り強く取り組む中で、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」ができているかを、定期テスト・小テスト、モジュール学習での活動、ノート、問題集、レポートの工夫、授業中の発言、話し合い活動の取組から評価します。

<学習内容>

	月	1 年	2 年	3 年
1 学 期	4	1. 正の数・負の数 (1) 正の数・負の数	1. 式の計算 (1) 式の計算	1. 式の展開と因数分解 (1) 式の展開と因数分解
	5	(2) 正の数・負の数の計算 (3) 正の数・負の数の利用	(2) 文字式の利用	(2) 式の計算の利用
	6	2. 文字の式 (1) 文字を使った式	2. 連立方程式 (1) 連立方程式	2. 平方根 (1) 平方根
	7	(2) 文字式の計算	(2) 連立方程式の利用	(2) 根号を含む式の計算 (3) 平方根の利用
2 学 期	9	3. 方程式 (1) 方程式	3. 一次関数 (1) 一次関数とグラフ	(2) 二次方程式の利用
	10	(2) 方程式の利用	(2) 一次関数と方程式	4. 関数 $y = ax^2$ (1) 関数とグラフ
	11	4. 変化と対応 (1) 関数	(3) 一次関数の利用	(2) 関数 $y = ax^2$ の値の変化 (3) いろいろな事象と関数
	12	(2) 比例 (3) 反比例 (4) 比例・反比例の利用	4. 図形の調べ方 (1) 平行と合同 (2) 証明	5. 図形と相似 (1) 図形と相似 (2) 平行線と線分の比 (3) 相似な図形の計量 (4) 相似の利用
3 学 期		5. 平面図形 (1) 直線と図形 (2) 移動と作図 (3) 円とおうぎ形	5. 図形の性質と証明 (1) 三角形	6. 円の性質 (1) 円周角と中心角 (2) 円の性質の利用
	1	6. 空間図形 (1) 立体と空間図形	(2) 四角形	7. 三平方の定理 (1) 直角三角形の3辺の関係
	2	(2) 立体の表面積と体積	6. 場合の数と確率 (1) 場合の数と確率	(2) 三平方の定理の利用
	3	7. データの活用 (1) ヒストグラムと相対度数 (2) データにもとづく確率	7. 箱ひげ図とデータの活用 (1) 箱ひげ図	8. 標本調査 (1) 標本調査とデータの活用

令和7年度 社会科学習案内

1. 社会科の目標

広い視野にたつて、社会に対する関心を高め、資料に基づき多面的、多角的に考察し、わが国や世界の国土、歴史に対し理解し、公民としての教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家、社会の形成者として必要な公民的資質を養う。

2. 学習内容

〈地理的分野〉 世界と日本の姿、世界のさまざまな地域、日本のさまざまな地域

〈歴史的分野〉 歴史へのとびら、古代までの日本、中世の日本、近世の日本、開国と近代日本の歩み、二度の世界大戦と日本、現代の日本と世界

〈公民的分野〉 現代社会と私たち、個人の尊重と日本国憲法、現代の民主政治と社会、私たちの暮らしと経済、地球社会とわたしたち、よりよい社会をめざして

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

* 知識・技能

社会的事象への理解を図るための知識と、調べまとめる技能が身についているか。

* 思考力・判断力・表現力

課題に対して、多角的、多面的にとらえ、考察し、公平に判断することができるか。

* 主体的に学習に取り組む態度

社会科の学習に対して、主体的に学習に取り組む態度ができているか。

⇒3 観点の評価については、定期テスト、小テスト、ノートの記述、プリントの記述、提出物の内容や提出状況、授業中の様子、話し合い活動の様子、発表の様子を総合的に判断します。

<学習内容>

	月	1 年	2 年	3 年
1 学 期	4	〈地理〉 第1編 世界と日本の姿	〈歴史〉 4章 近世の日本	〈歴史〉 6章 二度の世界大戦と日本
	5	1章 世界の姿	〈地理〉	7章 現代の日本と世界
	6	2章 日本の姿	第3編 日本のさまざまな地域	〈公民〉
	7	第2編 世界のさまざまな地域 1章 世界各地の人々の生活と環境	1章 地域調査の手法 2章 世界から見た日本の姿	1章 現代社会と私たち
2 学 期	9	〈地理〉 2章 世界の諸地域	〈地理〉 3章 日本の諸地域	〈公民〉 2章 個人の尊重と日本国憲法
	10	〈歴史〉	①九州地方	3章 現代の民主政治と社会
	11	1章 歴史へのとびら	②中国四国地方	4章 私たちの暮らしと経済
	12	2章 古代までの日本	③近畿地方 ④中部地方 ⑤関東地方	
3 学 期	1	〈歴史〉 3章 中世の日本	〈地理〉 3章⑥東北地方	〈公民〉 5章 地球社会とわたしたち
	2		⑦北海道地方	
	3		4章 身近な地域の調査	終章 よりよい社会をめざして
			〈歴史〉 5章 開国と近代日本の歩み	

令和7年度 理科学習案内

1. 理科の目標

- 自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する基本的な技術を身につける。
- 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

2. 学習内容

理科における1年間の学習の内容は、「化学分野」「生物分野」「物理分野」「地学分野」に分かれています。化学分野は物質の性質や化学変化など、生物分野は植物・動物や自然環境など、物理分野は物体の運動や音・光など、地学分野は、火山・地殻変動や気象、天体の運動などの内容を学習します。

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

①主体的に学習に取り組む態度

物理的事物・現象や化学的な変化、生物の生態やつながり、地学的な現象などについて興味・関心を持ち、積極的に調べたり、考えようとする態度についての評価項目です。具体的には、授業中の発言状況や課題に主体的に取り組む姿勢、授業の準備状況、提出物、ノートまとめ方、観察・実験に取り組む姿勢、等からA・B・Cの3段階で評価します。

②思考・判断・表現

自然に関する事物・現象の中に問題を見出し、目的意識をもって観察・実験などを行い、事象や結果を分析し、科学的に筋道を立てて考えたり、実験の結果を推察したり、結果から規則性やしくみなどを見出し表現する力についての評価項目です。具体的には、観察・実験のレポート内の考察での科学的用語を適切に使用しているかや発言内容、テスト等からA・B・Cの3段階で評価します。

③知識・技能

物理的事物・現象や化学的な変化、生物の生態やつながり、地学的な現象などについて基礎的な知識を身につけられたか、自然事象についての理解を深められたか。観察・実験の基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、観察・実験の方法や結果などをまとめる力についての評価項目です。具体的には、文章により発表しその内容、小テスト、定期テスト、器具の扱い方や観察・実験の手順、データの正確さとそれを表やグラフなどで表現する力、ノートやレポートのまとめ方の工夫、等からA・B・Cの3段階で評価します。

<学習内容>

	月	1 年	2 年	3 年
1 学期	4	単元1 いろいろな生物とその共通点 1. 生物の観察と分類のしかた (1) 生物の観察 (2) 生物の特徴と分類 2. 植物の分類 (1) 花のつくり (2) 果実をつくらない花 (3) 葉や根のつくり	単元1 化学変化と原子・分子 1. 物質の成り立ち (1) ホットケーキの秘密 (2) 水の分解 (3) 物質をつくっているもの (4) 分子と化学式 (5) 単体と化合物・物質の分類	単元1 化学変化とイオン 1. 水溶液とイオン (1) 水溶液と電流 (2) 塩化銅水溶液の中で起こる変化 (3) イオンと原子のなり立ち
	5	3. 動物の分類 (1) 身近な動物の分類 (2) 脊椎動物 (3) 無脊椎動物 (4) 動物の分類表の作成	2. 物質どうしの化学変化 (1) 異なる物質の結びつき (2) 化学変化を化学式で表す	2. 酸・アルカリとイオン (1) 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 (2) 酸性、アルカリ性の正体 (3) 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化
	6	単元2 身の回りの物質 1. いろいろな物質とその性質 (1) 身のまわりの物質 (2) 金属と非金属 (3) さまざまな金属の見分け方 (4) 白い粉末の見分け方	3. 酸素がかかわる化学変化 (1) 物質が燃える化学変化 (2) 酸化物から酸素をとる化学変化 4. 化学変化と物質の質量 (1) 化学変化と質量の変化 (2) 化学変化する物質どうしの質量の関係	3. 化学変化と電池 (1) 電解質水溶液の中の金属板と電流 (2) 金属のイオンへのなりやすさのちがい (3) ダニエル電池
	7		5. 化学変化とその利用 (1) 化学変化と熱 単元2 生物のからだのつくりと はたらき 1. 生物と細胞 (1) 植物の細胞 (2) 動物の細胞 (3) 生物のからだと細胞	単元2 生命の連続性 1. 生物の成長と生殖 (1) 生物の成長と細胞の変化 (2) 無性生殖 (3) 有性生殖 (4) 染色体の受けつがれ方
2 学期	9	2. 気体の性質 (1) 身のまわりの気体の性質 (2) 気体の性質と集め方 3. 水溶液の性質 (1) 物質が水にとけるようす (2) 溶解度と再結晶	2. 植物の体のつくりとはたらき (1) 葉と光合成 (2) 光合成に必要なもの (3) 植物と呼吸 (4) 植物と水 (5) 水の通り道	2. 遺伝の規則性と遺伝子 (1) 遺伝の規則性 (2) 遺伝子の本体と研究成果の活用
	10	4. 物質の姿と状態変化 (1) 物質の状態変化 (2) 状態変化と体積・質量の変化 (3) 状態変化が起こるときの温度とその理由	3. 動物の体のつくりとはたらき (1) 消化のしくみ (2) 呼吸のしくみ (3) 呼吸のはたらき (4) 心臓のはたらきと血液の循環 (5) 排出のしくみ	単元3 運動とエネルギー 1. 物体の運動 (1) 物体の運動の記録 (2) 物体の運動の速さの変化 (3) だんだん速くなる運動 (4) だんだん遅くなる運動
	11	単元3 身のまわりの現象 1. 光の世界 (1) 物の見え方 (2) 光の反射 (3) 光の屈折 (4) レンズのはたらき	4. 刺激と反応 (1) 刺激の受けとり (2) 神経のはたらき (3) 骨と筋肉のはたらき 単元3 天気とその変化 1. 気象の観測 (1) 圧力と大気圧 (2) 気圧と風 (3) 気象の観測 (4) 水蒸気の変化と湿度	2. 力のはたらき方 (1) 力の合成と分解 (2) 慣性の法則 (3) 作用・反作用の法則 (4) 水中ではたらく力 3. エネルギーと仕事 (1) さまざまなエネルギー (2) 力学的エネルギー (3) 仕事と力学的エネルギー (4) 仕事の原理と仕事率 (5) エネルギーの変換と保存
	12	2. 音の世界 (1) 音の伝わり方 (2) 音の大きさや高さ	2. 雲のでき方と前線 (1) 雲のでき方 (2) 気団と前線 3. 大気の動きと日本の天気 (1) 大気の動きと天気の変化 (2) 日本の天気と季節風 (3) 日本の天気の特徴 (4) 天気の変化の予測 (5) 気象がもたらすめぐみと災害	単元4 地球と宇宙 1. 地球の運動と天体の動き (1) 太陽の1日の動き (2) 地球の自転と方位、時刻 (3) 星の1日の動き (4) 天体の1年の動き (5) 地軸の傾きと季節の変化 2. 月と金星の見え方 (1) 月の満ち欠け (2) 金星の見え方 (3) 日食と月食 3. 宇宙の広がり (1) 太陽系の天体 (2) 宇宙の広がり

3 学 期	1	3. 力の世界 (1) 日常生活のなかの力 (2) 力のはかり方 (3) 力の表し方 (4) 力のつり合い	単元4 電気の世界 1. 静電気と電流 (1) 静電気と放電 (2) 電流の正体 (3) 放射線の性質と利用	単元5 地球と私たちの未来のため に 1. 自然のなかの生物 (1) 生態系 (2) 生態系における生物のはたらき (3) 生態系と炭素の循環
	2	単元4 大地の変化 1. 火をふく大地 (1) 火山の姿からわかること (2) 火山の噴火によってふき出 されるもの	2. 電流の性質 (1) 回路のつなぎ方 (2) 回路に流れる電流 (3) 回路の加わる電圧 (4) 電圧と電流の関係 (5) 電気エネルギー	2. 自然環境の調査と保全 (1) 身近な自然環境の調査 (2) 人間による活動と自然環境 (3) 自然環境の開発と保全 (4) 自然災害と地域のかかわりを学 ぶ
	3	(3) 火山の活動と火成岩 (4) 火山とともにくらす 2. 動き続ける大地 (1) 地震の揺れの伝わり方 (2) 地震が起こるところ (3) 地震に備えるために 3. 地層からよみとる大地の変化 (1) 地層のなり立ち (2) 堆積岩 (3) 地層化や化石からわかるこ と (4) 大地の変動 (5) 身近な大地の歴史	3. 電流と磁界 (1) 電流がつくる磁界 (2) 電流が磁界から受ける力 (3) 発電のしくみ (4) 直流と交流	3. 科学技術と人間 (1) さまざまな物質とその利用 (2) カーボンニュートラルの実現に 向けた取り組み (3) 科学技術の発展 終. 持続可能な社会のために (1) 人間の活動と地球環境 (2) 持続可能な社会と科学技術

令和7年度 英語科学習案内

1. 英語科の目標

- ①基礎的な知識・技能の習得を目指し聞く力/書く力を強化。
- ②身に着けた基礎的な知識・技能を活用して自己表現力を育てる。
- ③生徒の英語学習へのモチベーションを向上させる。

2. 学習内容

- Round 1・・・本文を聞くことによる【音声中心の概要理解】
- Round 2・・・本文を聞くことによる【音声と文字の一致】
- Round 3・・・本文の内容を理解した上での【音読】
- Round 4・・・穴あき音読シートによる【文の構造を意識した音読】
- Round 5・・・自分の言葉で本文のストーリーを伝える【話す・書くリテリング】

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

*** 知識・技能**

- ・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。
- ・使用する言語材料の提示がない状況においても、それらを用いて事実や自分の考えなどを話したり書いたりすることができる技能を身に付けている。

*** 思考力・判断力・表現力**

- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報や概念、要点などを捉え、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や分を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている。

*** 主体的に学習に取り組む態度**

- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

○評価方法

パフォーマンステスト ワークシート 活動観察 ペーパーテスト

<学習内容>

	月	1 年	2 年	3 年
1 学期	4	Round 1		
	5			
	6	Round 2		
	7			
2 学期	9	Round 3		
	10			
	11	Round 4		
	12			
3 学期	1	Round 5		
	2			
	3			

令和年度 音楽科学習案内

1. 音楽科の目標

◎表現及び鑑賞の幅広い活動として、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を育て、豊かな情操を養う。

2. 学習内容

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年	歌唱表現 (校歌・愛唱歌 他) 弦楽合奏鑑賞 創作表現	リー十鑑賞 合唱の喜び 器楽表現 (アルトリコーダー)	弦楽合奏鑑賞 歌唱表現・器楽表現(和楽器)
2 年	歌唱表現 (翼をください 他) 器楽表現 鑑賞 (フーガ短調)	合唱の豊かな響き 管弦楽鑑賞	歌唱表現 器楽表現(和楽器) 総合芸術 鑑賞
3 年	歌唱表現 (花 他) バレエ音楽 能楽鑑賞 能楽体験	ポピュラー音楽鑑賞 合唱の豊かな響き	器楽表現 (アルトリコーダー・和楽器) 式典音楽 歌唱表現

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

* 知識・技能

曲想と音楽の構造などとの関わりや音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための歌唱・器楽・創作の技能を身に付けているか、定期テスト、実技テスト、ノートやワークの提出物、授業での様子などで評価します。

* 思考力・判断力・表現力

知識及び技能を活用して音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができているか、定期テスト・実技テスト・プリントやノート・ワーク等提出物、授業での様子などで評価します。

* 主体的に学習に取り組む態度

音楽への興味・関心を養い、高めることで音楽文化に親しむこと、身の回りの音や音楽に主体的に関わっていく「主体的・協働的な学習への取り組み」ができているかを、プリントやノート、授業での活動や振り返り等から評価します。

3年間の学習計画 【使用教科書 「教育芸術社」(出版社名)】

	月	1 年	2 年	3 年
1 学 期	4	1. 明るい声で歌おう 校歌 「夢を追いかける」	1. 豊かな響きで歌おう 夢を追いかける 翼をください	1. 豊かな歌声で表現しよう 校歌 「夢を追いかける」
	5	2. 鑑賞 ヴィヴァルディ「四季」より「春」	2. 鑑賞 フーガト短調	2. 日本の歌 ～日本の歌のよさや美しさを理解して、歌 唱表現を工夫しよう～
	6	3. イメージと音楽	3. アルトリコーダー	「花」
	7	4. 鑑賞 合唱コンクール選曲	4. 鑑賞 合唱コンクール選曲	3. 日本の伝統音楽 能楽「高砂」
2 学 期	9	1. 鑑賞 「魔王」	1. 合唱コンクールへの取り組み クラス合唱曲	4. 鑑賞 バレエ音楽「ボレロ」
	10	2. 歌唱表現の工夫 「夢の世界を」	2. 日本の歌 ～情景を思い浮かべながら、言葉を 大切に歌おう～	5. 鑑賞 合唱コンクール選曲
	11	3. 合唱コンクールへの取り組み クラス合唱曲	「夏の思い出」	1. 合唱コンクールへの取り組み クラス合唱曲
	12	3. アルトリコーダー 「主人は冷たい土の中に」	3. 鑑賞 「交響曲第5 番ハ短調」	学年合唱曲「大地讃頌」
3 学 期	1	4. 鑑賞「六段の調べ」		2. ポピュラー音楽鑑賞 「ウィー ウィル ロック ユー」
	2	1. 日本の民謡とアジアの諸民族 の音楽日本の楽器（箏）	1. 総合芸術鑑賞 ・オペラ「アイーダ」 ・歌舞伎「勧進帳」	「ウィー ウィル ロック ユー」
	3	2. 日本の歌 ～日本の歌のよさや美しさを感じ取っ て、歌唱表現を工夫しよう～	2 日本の楽器（箏） ・「さくら さくら」	「ワルツ フォー デビー」
		「浜辺の歌」	3. 式典音楽 ・校歌 ・川口市民歌 ・君が代	「おいしい水」
		3. 日本の楽器（箏） 「虫づくし」「姫松」 「さくらさくら」		
		4. 鑑賞 「六段の調べ」		
		5. 式典音楽 校歌 川口市民歌 君が代		

令和7年度 保健体育科学習案内

1. 保健体育科の目標

◎体育や保健の見方、考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

2. 学習内容

【体育分野】	【保健分野】
体づくり運動 陸上競技 球技 ダンス 器械運動 水泳 武道	健康な生活と疾病の予防 心身の機能の発達と心の健康 傷害の防止 健康と環境
体育理論	

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	・運動の特性や成り立ちを理解している。 ・技術の名称や行い方を理解している。 ・関連して高まる体力を理解している ・運動の楽しさや喜びを味わうことができる ・必要な技能や体力の向上、また、向上するために必要な運動の行い方を身につけることをしている。	授業観察 単元テスト 期末テスト 学習カード 技能テスト
思考力・判断力・表現	・仲間の課題や出来栄を伝えている。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を仲間に伝えている。 ・合理的な解決に向けて、運動の取り組み方法を工夫すると共に、自己の考えを他者に伝えている。 ・分担した役割に応じた活動の仕方を見つけている。 ・チームへの関わり方を見つけている。 ・仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を発見して仲間に伝えている。	授業観察 期末テスト 学習カード
主体的に学習に取り組む態度	・自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、フェアプレイを大切にしようとしている。 ・話し合いに参加し、貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレーなどを認めることができる。 ・互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全確保することができる。	学習カード 授業観察

<学習内容>

	月	1 年		2 年		3 年	
1 学 期	4	体づくり運動	保健 体育理論	体づくり運動	保健 体育理論	体づくり運動	保健 体育理論
	5	球技Ⅰ (バレー、ソフト)		球技Ⅰ (バレー、ソフト)		球技Ⅰ【選択】 (バレー、ソフト、卓球)	
	6	水泳(クロール)		水泳(平泳ぎ)		水泳・ダンス・陸上【選択】	
	7						
2 学 期	9	体づくり運動 器械運動 (マット運動)		体づくり運動・ 器械運動(跳び箱運 動)		体づくり運動 器械運動・球技Ⅱ【選択】 (ソフトテニス ・ハンドボール)	
	10	陸上Ⅰ (短距離・リレー)		陸上Ⅰ(走り幅跳び、 走り高跳び)		陸上Ⅱ(長距離走)	
	11	陸上Ⅱ(長距離走)		陸上Ⅱ(長距離走)		武道・球技Ⅲ【選択】 (柔道・バドミントン・タ グラグビー)	
	12	ダンス		ダンス			
3 学 期	1	武道(柔道)		武道(柔道)		球技Ⅳ【選択】 (サッカー・バスケット ボール)	
	2	球技Ⅱ		球技Ⅱ			
	3	(サッカー、 バスケットボール)		(サッカー、 ハンドボール)			

令和7年度 技術・家庭科（技術分野）学習案内

1. 技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、改善策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 学習内容

- A 材料と加工の技術
- B 生物育成の技術
- C エネルギー変換の技術
- D 情報の技術

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

* 知識・技能

生活や技術に関する基本的・基礎的な知識や技能を、学習を通して身に付けている。

* 思考力・判断力・表現力

生活の中から問題を見出して課題を設定し、最適な解決策を見出し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

* 主体的に学習に取り組む態度

よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

授業中の取り組み（ワークシートの記述内容、授業のふりかえり等）、作品、定期テストなどをもとに総合的に評価します。

＜学習内容＞

	月	1 年	2 年	3 年
1 学期	4	A 材料と加工の技術	B 生物育成の技術	D 情報の技術
	5	1 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み ①身の回りの材料と加工の技術 ②木材、金属、プラスチックの特性 ③材料に適した加工方法 ④丈夫な製品を作るために ⑤材料と加工の技術の工夫を読み取ろう	1 生物育成の技術の原理・法則と仕組み ①生物育成の技術とは何だろう ②作物の育成環境を調節する技術 ③作物の成長を管理する技術 ④動物を育てる技術 ⑤水産生物を育てる技術 ⑥生物育成の技術の工夫を読み取ろう	1 情報の技術の原理・法則と仕組み ①情報の技術とは何だろう ②情報のデジタル化 ③情報通信ネットワークの仕組み ④安全に利用するための情報モラル ⑤安全に利用するための情報セキュリティ ⑥情報の技術の工夫を読み取ろう
	6	2 材料と加工の技術による問題解決 ①問題を発見し、課題を設定しよう ②製作品を構想し、設計しよう ③製作の計画を立てよう ④作業手順を考えて製作しよう ⑤問題解決の評価、改善・修正	2 生物育成の技術による問題解決 ①問題を発見し、課題を設定しよう ②生物の育成計画を立てよう ③成長段階に合わせて適切に育成しよう ④問題解決の評価、改善・修正	2 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 ①双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう ②問題を発見し、課題を設定しよう ③コンテンツを構想しよう ④コンテンツのプログラムを制作しよう ⑤問題解決の評価、改善・修正
	7	3 社会の発展と材料と加工の技術 ①材料と加工の技術の最適化 ②これからの材料と加工の技術	3 社会の発展と生物育成の技術 ①生物育成の技術の最適化 ②これからの生物育成の技術	3 計測・制御のプログラミングによる問題解決 ①計測・制御システムとは何だろう ②問題を発見し、課題を設定しよう ③計測・制御システムを構想しよう ④計測・制御システムのプログラムを制作しよう ⑤問題解決の評価、改善・修正
2 学期	9	B 生物育成の技術	C エネルギー変換の技術	
	10	1 生物育成の技術の原理・法則と仕組み ①生物育成の技術とは何だろう ②作物の育成環境を調節する技術 ③作物の成長を管理する技術 ④動物を育てる技術 ⑤水産生物を育てる技術 ⑥生物育成の技術の工夫を読み取ろう	1 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ①エネルギー変換の技術とは何だろう ②発電の仕組みと特徴 ③電気を供給する仕組み ④電気回路について考えよう ⑤電気機器を安全に使用するための技術 ⑥運動エネルギーへの変換と利用 ⑦回転運動を伝える仕組み ⑧機械が動く仕組み ⑨機械の共通部品と保守点検の大切さ ⑩エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう	4 社会の発展と情報の技術 ①情報の技術の最適化 ②これからの情報の技術
	11	2 生物育成の技術による問題解決 ①問題を発見し、課題を設定しよう ②生物の育成計画を立てよう ③成長段階に合わせて適切に育成しよう ④問題解決の評価、改善・修正	2 エネルギー変換の技術による問題解決 ①問題を発見し、課題を設定しよう ②電気回路を設計・製作しよう ③機構モデルを設計・製作しよう ④問題解決の評価、改善・修正	
	12	3 社会の発展と生物育成の技術 ①生物育成の技術の最適化 ②これからの生物育成の技術	3 社会の発展とエネルギー変換の技術 ①エネルギー変換の技術の最適化 ②これからのエネルギー変換の技術	
3 学期	1			
	2			
	3			

令和7年度 技術・家庭（家庭分野）学習案内

1. 技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、改善策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 学習内容

- A 家族家庭生活
- B 衣食住の生活
- C 消費生活・環境

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

* 知識・技能

家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。

* 思考力・判断力・表現力

これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

* 主体的に学習に取り組む態度

家族や地域の人々と共同し、よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

授業中の取り組み（ワークシートの記述内容、授業のふりかえり等）、作品、定期テストなどをもとに総合的に評価します。

＜学習内容＞

	月	1 年	2 年	3 年
1 学期	4	B 衣食住の生活 (4) 衣服の選択と手入れ ア (7) 衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用や個性を生かす着用、衣服の選択 (4) 衣服の計画的な活用、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ イ 日常着の選択や手入れの工夫 (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作 ア 製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱い イ 生活を豊かにするための資源や環境に配慮した布を用いた物の製作計画及び製作の工夫	B 衣食住の生活 (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ア (7) 食事が果たす役割 (4) 中学生の栄養の特徴、健康によい食習慣 イ 健康によい食習慣の工夫 (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事 ア (7) 栄養素の種類と働き、食品の栄養的特質 (4) 中学生の1日に必要な食品の種類と概量、献立作成の方法 イ 中学生の1日分の献立の工夫 (3) 日常食の調理と地域の食文化 ア (7) 用途に応じた食品の選択 (4) 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理 (4) 材料に適した加熱調理の仕方、基礎的な日常食の調理 (4) 地域の食文化、地域の食材を用いた和食の調理 イ 日常の1食分のための食品の選択と調理計画及び調理の工夫 (6) 住居の機能と安全な住まい方 ア (7) 家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能 (4) 家族の安全を考えた住空間の整え方 イ 家族の安全を考えた住空間の整え方の工夫 (7) 衣食住の生活についての課題と実践 ア 食生活、衣生活、住生活についての課題と計画、実践、評価	A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活 ア 自分の成長と家庭生活との関わり、家族・家庭の基本的な機能、家族や地域の人々との協力・協働 (2) 幼児の生活と家族 ア (7) 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割 (4) 幼児の遊びの意義、幼児との関わり方 イ 幼児との関わり方の工夫 (3) 家族・家庭や地域との関わり ア (7) 家族の協力和家族関係 (4) 家庭生活と地域との関わり、高齢者との関わり方 イ 家庭関係をよりよくする方法及び地域の人々と協働する方法の工夫 (4) 家族・家庭生活についての課題と実践 ア 家族、幼児の生活又は地域の生活についての課題と計画、実践、評価
	5			
	6			
2 学期	9			
	10	C 消費生活・環境 (1) 金銭の管理と購入 ア (7) 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理 (4) 売買契約の仕組み、消費者被害、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理 イ 情報を活用した物資・サービスの購入の工夫 (2) 消費者の権利と責任 ア 消費者の基本的な権利と責任、消費生活が環境や社会に及ぼす影響 イ 自立した消費者としての消費行動の工夫 (3) 消費生活・環境についての課題と実践 ア 環境に配慮した消費生活についての課題と計画、実践、評価		
	11			
3 学期	12			
	1			
	2			
	3			

令和7年度 美術科学習案内

1. 美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2. 学習内容

「平面」…平面構成や色彩に関わること

「立体」…立体構成や色彩に関わること

「デザイン」…デザインや色彩に関わること

「鑑賞」…造形的なよさや美しさを感じ取り美術に関する見方を深める

の4つの内容について系統的に学習します。

3. 評価の観点と評価規準、評価方法

* 知識・技能

- ・ 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。
- ・ 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。

* 思考力・判断力・表現力

- ・ 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

* 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

<学習内容>

	月	1 年	2 年	3 年
1 学 期	4	・美術って何だろう (オリエンテーション)	・クイズ！これってアート？ (オリエンテーション)	・クイズ！これってアート？ (オリエンテーション)
	5	・中学生になった「私のシンボル マーク」をつくろう！	・オリジナルプレート (立体看板制作)	・友人画20分スケッチ
	6	・モダンテクニックを知ろう		・私のシンボル (自信をモチーフにしたオリジナル キャラクター作成)
	7	・「頑張りたい私」を表現しよう (絵画制作)		
2 学 期		・心ひかれる風景 (季節感や雰囲気をつえ制作)		
	9	・本物を超える！ (素材の特性を理解する)	・コラージュで作る私の世界	・今を生きる私 (自画像)
	10			・篆刻
	11			
3 学 期	12	・色について知ろう (色の学習)		
	1	・いろいろな描き方を知ろう (材料や道具について知る)	・様々なデザインについて (デザインについて)	・卒業を記念して。 私のモニュメント
	2	・オノマトペから見つけよう (デザイン)	・本を着飾る (ブックカバー制作)	
	3			

令和7年度 道徳科学習案内

1. 道徳科の目標

- ①心身の健康に心がけ、何事にも粘り強く着実にやりぬく生徒を育てる。
- ②集団や社会の一員として集団や社会の一員として自己の役割と責任を自覚して行動できる生徒を育てる。
- ③感謝と思いやりの心を持ち、謙虚に他に学ぶ広い心を持つ生徒を育てる。

2. 学習内容

<1年 35時間>

よりよい自己の追及・優しい心・いまを生きる大切さ・家族のきずな・日々の心構え・自分をきたえる・善意や支えへの感謝・自主的な判断・目標に向かう意思・正しい異性理解・弱さの克服・よりよい集団づくり・高徳を尊ぶ心・好ましい世の中・礼の精神・いじめを許さぬ強さ・自然を愛する心・真の友情・心のあたたかさ・きまりの意義・国を思う心・他に学ぶ姿勢・良心のめざめ・郷土を愛する心・誠実な行動と責任・勤労の尊さ・かけがえない家族・人生を切り拓く・生命の尊さ・真の国際貢献・支え合う家族・公正、公平な社会・思いやり・愛校心・くじけない心・

<2年 35時間>

より良い自己の追求・育み合う友情・自分を好きになる・生活習慣・自然への畏敬・社会秩序・目標に向かう意志・共生社会・他に学ぶ姿勢・家族愛・誠実な心・責任ある判断・社会の実現・感謝の気持ち・正義感・人間のすばらしさ・働く意義・自然への感動・人間愛・自己と集団・かけがえない命・国際協力・社会奉仕・礼義・思いやる心・愛国心・異性理解・愛校心・良心に恥じない生き方・郷土愛

<3年 35時間>

より良い自己の追求・真理を愛する生き方・目標に向かう意思・父母への感謝・信頼に支えられた友情・美しい生活習慣・感謝の心が支えるもの・生命の尊さ・自然への畏敬・夢を追い求める心・弱さの克服・試練が育てる友情・礼儀の意味・生きる喜び・深い人間愛・いじめを許さぬ心・郷土を愛する心・勤労の尊さ・思慮深い判断と責任・思いやりの心・家族への敬愛・正しい異性理解・法の理解と遵守・伝統の継承・つながり合う社会・公正、公平な心・謙虚な心・心のふれあい・役割の自覚・誇りある生き方・志高く生きる・愛校心・きまりを守る・自分を磨く

3. 評価

- ・記述式の評価を三学期に行う。
- ・一年間でどのように生徒が変容したのかを評価する。
- ・生徒の反応から道徳性を理解し評価する。
- ・導入や展開、終末などの各過程において、生徒の反応や発言等の変容などから評価する。
- ・机間指導等で、生徒が貼って集積したワークシートや振り返り等に書いている様子やその内容から、生徒の心情、理解、判断などを評価する。
- ・生徒自身による自己評価を活かす。

<学習内容>

	1 年	2 年	3 年
1 学期	1 「どうせ無理」という言葉に負けない 2 本が泣いています 3 朝市の「おはようございます」 4 いじめに当たるのはどれだろう 5 傍観者でいいのか 6 風評被害 7 山に来る資格がない 8 道徳 × 情報モラル SNS に友達の悪口を書くと 9 新しいプライド 10 父の手作りのベンチ 11 山岳民族の文化を守る 12 見えない親切 13 いのちって何だろう 14 決断！ 骨髄バンク移植第一号 15 道徳 × 防災 夕暮れどきの避難 16 金賞を目指して 17 私はここにいる — 倉橋香衣 18 道徳 × 情報モラル よごれた教科書 19 出会い — アンドロイドと不気味の谷 20 裏庭での出来事 21 ぼくのふるさと 22 思いやりの日々 23 ごみ箱をもっと増やして 24 銀色のシャープペンシル 25 私の「ふつう」と、あなたの「ふつう」 26 NHK 番組「ココロ部！」 ぼくらの村の未来 27 靴 28 古都の雅、菓子的心 29 震災の中で 30 「看護する」仕事 31 火の島 32 自分の性格が大嫌い！ 33 詩画にあしたをたくして — 星野富弘 34 郷土を彫る 35 いつわりのバイオリン	1 「できない」には価値がある — 吉藤オリイ 2 遠足で学んだこと 3 和食のころ 4 私のせいじゃない 5 あの子のランドセル 6 「いじめ」について、あなたは思う？ 7 一冊のノート 8 六千人の命のビザ 9 魔法使いの少年 — いつかの自分 10 道徳 × 情報モラル 「いいね」のために？ 11 左手でつかんだ音楽 12 祭りの夜 13 日々を支える、散歩と朝ご飯 — 阿部 詩 14 奇跡の一週間 15 妹に 16 道徳 × 防災 水辻村の決断 17 みんなでとんだ！ 18 夜のくだもの屋 19 本当の私 20 宇宙人 21 注文をまちがえる料理店 22 冬の使者「マガン」 23 あいさつ 24 住みよい社会に 25 女子教育の夜明け — 津田梅子 26 道徳 × 情報モラル ゴール 27 書道パフォーマンスの挑戦 28 NHK 番組「SEED なやみのタネ」 やっちゃんのなやみ 29 宝塚方面行き — 西宮北口駅 30 田老の生徒が伝えたもの 31 人生でだいじなことは、みんなゴリラから教わった 32 私は十四歳 33 夜は人間以外のものの時間 34 気づき — ドッジボールとぼくらの温度差 35 良心とのたたかい — 「レ・ミゼラブル」より	1 自分をアップデート — HIKAKIN 2 二通の手紙 3 地域を愛するプロサッカーリーグ 4 道徳 × 情報モラル ある日の午後から 5 私の好きなもの 6 いじめから目をそむけない 7 道徳 × 情報モラル 合格通知 8 熱球の軌跡 9 NHK 番組「ココロ部！」 外国から来た転校生 10 早朝ドリブル 11 花火と灯ろう流し 12 たんぽぽ作業所 13 くちびるに歌をもて 14 人間の命とは 15 道徳 × 防災 避難所での出来事 16 紀州のエジソン 17 埴生の宿 18 コスモスの花をさかせよう 19 しあわせ 20 語らい — 私たちが出会う新しい私たち 21 その子の世界、私の世界 22 好きな仕事か安定かなやんでいる 23 伝えたいことがある 24 きれいな川 25 自分を変える力 — 桃田賢斗 26 道徳 × 情報モラル スマホに夢中！ 27 言葉おしめ 28 卒業文集最後の二行 29 缶コーヒー 30 加山さんの願い 31 幸せに生きる道 — 滝沢ななえ 32 足袋の季節 33 背筋をのばして 34 ハッチを開けて、知らない世界へ 35 一冊の漫画雑誌
2 学期			
3 学期			

令和7年度 総合的な学習の時間 学習案内

総合的な学習の時間の目標

自ら学び、自ら考えるなどの「生きる力」を育むために、既存の教科書の枠を超えて地域との関りを交えた横断的総合的な学習を実施する時間である。探究課題について主体的に考え、情報を収集・整理・分析し、目的を考えた効果的なまとめ・表現をすることを通し、自己の生き方を考えようとする姿勢を育てる。また、ライフスキル教育を取り入れ、よりよい生き方を身につけ、実践でいるようにする。

総合的な学習のねらい

- (1) 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題解決する資質や能力を育てる。
- (2) 学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探求活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。
- (3) 他の意見や考えたことを尊重しつつ自分自身の考えをまとめ、外に向けて主張し、発信できるような力を身につける。

学習内容

○学校としての探究課題「よりよく生きるために何が大切か」

○1年生で取り組むこと……探究課題「職業の選択と働くことの意味」

- ・手だて…職業調べ、夢わ〜く、「働く」ということの意味、校外学習（人間関係の重要性、役割を果たすことの大切さ）、授業外でボランティア
- ・多種多様な「職業」の特性を知り、身近な人に「働く」ということについて聞き、実際に職場体験することで地域との関わりを深め多角的に「働く」ということについて考え、分析する。
- ・地域で活躍する方（職業・ボランティアなど）から話を聞く会などを設けて、様々な職業に興味関心をもたせ、職業の選択や進路選択につなげる。

○2年生で取り組むこと……探究課題「進路の選択と豊かな生き方」

- ・手だて……上級学校調べ、水上自然教室（個々の役割が果たす責任の自覚、協力することで為せることの大切さ）、「よりよく生きる」ことの探究から例示学習（例：福祉、環境、平和等）を通して個人テーマ設定
- ・1学年で「職業」について理解を深め、2学年では中学校卒業後から「職業」までの「通過点」となる上級学校に着目して生き方について考える。その過程で、よりよい生き方とは充実した「進路・職業」だけではないことに目を向け、自身の豊かな人生に大切なものは何なのだろう、ということを探求させたい。テーマ設定の方法や調査・分析自体を学習するための具体例として、学年全体で1つの探究テーマを設定し、地域に関心を向けて調査しまとめる。（例、国際、環境、平和、福祉など）
- ・地域の防災や減災、防犯などに目を向け、地域のリスクマップを作成する。作成したものを地域に向けて発信する。

○3年生で取り組むこと……探究課題「自己の生き方を探る」

- ・進路選択、修学旅行（日本の伝統文化、歴史）、「よりよく生きる」ことの探究から設定した個人テーマの情報収集、分析、まとめ、発表を行う。
- ・2学年の最後に学年で取り組んだ1つのテーマに対する迫り方、情報の収集、分析の仕方、効果を考えたのまとめや発表の仕方を全て生かしながら、個人テーマに取り組ませる。最後の発表で互いの発表を聴いた上で、あらためて「よりよく生きるためには何が大切か」を1学年の学習から振り返り、まとめることで、学校としての探究課題の総まとめとする。
- ・生まれ育った地域の課題解決や地域貢献を考え、地域に恩返しできる活動を立案し、計画に沿って情報を収集し、調査分析を行い、まとめる。

ライフスキルとの関連

	1 年生	2 年生	3 年生
1 学期	・自分らしさを表現する	・上手に話を聞こう	・輝け未来のわたし
2 学期	・わたしのコラージュ	・危険行動を避ける	・インターネットと上手に付き合おう
3 学期	・自分の気持ちをうまく伝える	誤解を避ける	・広告分析（実践編）

地域学習との関連

1 年生	2 年生	3 年生
・身近な地域と職業	・身近な地域の防災、減災 ・リスクマップの作成	・地域課題の解決、地域貢献 ・地域に恩返し

観点別評価から評定へ

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第 1 学年	校外学習や職業調べを通して、地域・自治体などによる環境問題などの取り組みの違いを知ろうとしている。	事前学習や調べ学習などで必要な情報を収集、選択、分析し、場面に合った形で発信しようとしている。	校外学習や職業調べを通して自己の生き方を考え、将来について夢や希望をもとうとしている。
第 2 学年	水上自然教室や校外学習を通じて、地域・自治体などによる環境問題などの取り組みの違いを学び、よりよく生きるために大切なものについて探求しようとしている。	事前学習を通じて学んだ「取り組む姿勢」「課題解決方法」を生かし学校生活や行事での実践しようとしている。	水上自然教室や校外学習を通じて、自己を見つめる力や、物事を主体的に判断し、自らの「生き方」について見つめようとしている。
第 3 学年	修学旅行を通じて、地域・自治体などによる環境問題などの取り組みの違いを学び、環境について知ろうとしている。	修学旅行を通じて、地域・自治体などによる環境問題などの取り組みを追求し、情報を収集・分析し、場面・効果を考えた発表を行おうとしている。	修学旅行を通じて、自己を見つめる力や物事を主体的に判断し、よりよく生きようとするための進路選択を追求しようとしている。